

新ひだか町第2次総合計画の変更概要

1 変更の理由

新ひだか町における人口の動向や将来展望などをまとめた「新ひだか町人口ビジョン」が令和元年度に改訂されたことを受け、本計画において「まちづくりの主要指標」として掲げている人口等の目標値も、当該ビジョンの改訂を踏まえて変更するものです。

2 変更する内容

【変更前】

目標項目	現状 (H28)	目標値 (H39 末)
総人口	23,052 人	<u>22,086 人</u>
合計特殊出生率	1.62	<u>1.62</u>
生産年齢人口比率	57%	<u>50%</u>

【変更後】

目標項目	現状 2016 (H28)	目標値 2027 (R9)
総人口	23,052 人	<u>19,000 人以上</u>
合計特殊出生率	1.62	<u>1.60 以上</u>
生産年齢人口比率	57%	<u>50%以上</u>

※新ひだか町人口ビジョン(改訂版)を参考に令和9年度の人口等を展望

3. 新ひだか町人口ビジョン(改訂版)における将来展望

(1) 新ひだか町人口ビジョンの目標値について

新ひだか町における将来人口の展望は、人口減少が今後も進行することを認めつつ、その速度をいかに遅くするかという視点によるべきと考えるが、今後における各種施策の企画立案及び事業成果の検証等を効果的に行うために、次のとおり目標値を設定する。

①自然減の緩和

国の長期ビジョンにおける合計特殊出生率については、令和2（2020）年には1.60、令和12（2030）年には1.80、令和22（2040）年には2.07程度まで上昇することで展望しているが、生産年齢人口が減少していく中、政策誘導により上昇を目指したとしても、右肩上がりに上昇するとは考えにくいことから、国における令和2（2020）年の展望値を上限とし、「令和22（2040）年の合計特殊出生率を1.60以上とする。」ことを目標値とする。

②社会減の緩和

社人研による推計では、人口の純移動数が年平均で200人減となっているが、政策誘導によりこれを50%程度の減少に抑え、「令和22（2040）年までの社会減数を年平均100人程度に抑える。」ことを目標値とする。

③一定数以上の総人口の確保

社人研による推計では、令和22（2040）年に現在の人口から約9,000人減少し、約12,900人になるとされているが、政策誘導によりこれを抑え、「令和22（2040）年に15,000人の人口を確保する。」ことを目標値とする。

【人口推計】

（単位：人）

区分	R2(2020)	R7(2025)	R12(2030)	R17(2035)	R22(2040)
町人口ビジョン (H27.10月策定)	23,144	22,398	21,618	20,844	20,094
H30社人研推計	21,069	18,911	16,817	14,822	12,950
町人口ビジョン (R2.3月策定)	21,577	19,883	18,211	16,605	15,101

※参考 令和元年12月末人口 22,236人